

関係団体の長 殿

令和5年の愛知県内の就業中の熱中症り患者は、前年より14人多い60人（休業4日以上）となり、2年連続での増加となりました。また、都道府県別では、全国で3番目に多い発生件数となりました。さらに、気象庁の予報によれば、この夏も平年より気温が高くなる見込みであることから、熱中症の発生リスクが高まることが懸念されるところです。

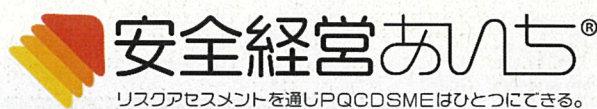
熱中症は、危険源が暑熱環境であることが明確であり、その予防も、労働者の暑熱環境ばく露管理が基本であることから、一定の科学的アプローチが可能です。

愛知労働局では、過去の熱中症の発症時期及び予防対策の効果を考慮し、例年5月から熱中症撲滅に向けた取組を推進しております。

つきましては、貴団体におかれましても関係事業場に対し積極的な周知を行っていただきますとともに、予防対策におけるWBGT値(暑さ指数)の把握や、現場作業の把握、これらに基づく評価・管理及び、暑熱ばく露時間の短縮等の科学的アプローチの推進につきまして、理解促進を図られますようお願いいたします。

令和6年5月16日

愛知労働局長



**熱中症**  
**を防ごう!**

愛知労働局



STOP! 熱中症 クールワークキャンペーン  
2024年5月1日～9月30日